本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8120㈹

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）236-4121㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL（019）621-3541㈹
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL（0256）34-2112㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8118㈹
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL（029）255-3761㈹
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL（027）210-7755㈹
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL（0263）26-4377㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL（04）7132-1500㈹
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL（043）422-7400㈹
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2－4－87	TEL（052）918-8619㈹
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL（054）237-6116㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6444-2035㈹
京滋営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町195	TEL（075）645-5061㈹
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6－2－4	TEL（078）367-1580㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）411-5416㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL（099）269-5347㈹

販売関係会社

埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）651-5341㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL（045）364-5661㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL（042）528-3051㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL（076）240-1873㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL（086）246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL（087）866-5599㈹

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱

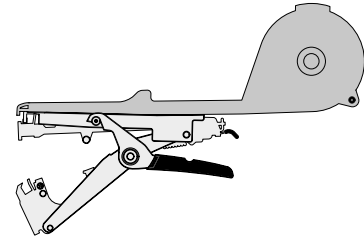
本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL（027）350-7820㈹
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）667-6448㈹
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）231-6487㈹
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）237-0778㈹
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2－4－87	TEL（052）918-8624㈹
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6446-0815㈹
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-5670㈹
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） **0120-228-358**
『ナンバーディスプレイ』を利用しています。
〈月～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）午前9時～午後6時〉

http//www.max-ltd.co.jp/kik/

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4009814
110802-00/00

マックス園芸用結束機 軽とじ テープナー® HT-A〈NS〉

取扱説明書

⚠警告

- ●使用前に必ず取扱説明書を読む。
- ●使用前に正常に作動するか必ず確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- ●マガジンユニットの先端付近にはギザ刃及びステープルの射出口があるため絶対に指を当てない。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。
- ●カラ打ちを絶対にしない。
- ●ギザ刃は指定のものを必ず使用する。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

＊便利メモ

お名前		商品名	HT-A（NS）
お買い上げ日	年　月　日	製造番号	
販売店名	☎（　）　－		

このたびは、マックス園芸用結束機HT-A（NS）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について

	この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される状況を表しています。
	この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される状況および物的損害のみの発生が想定される状況を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される状況を表しています。

■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

1 各部の名称

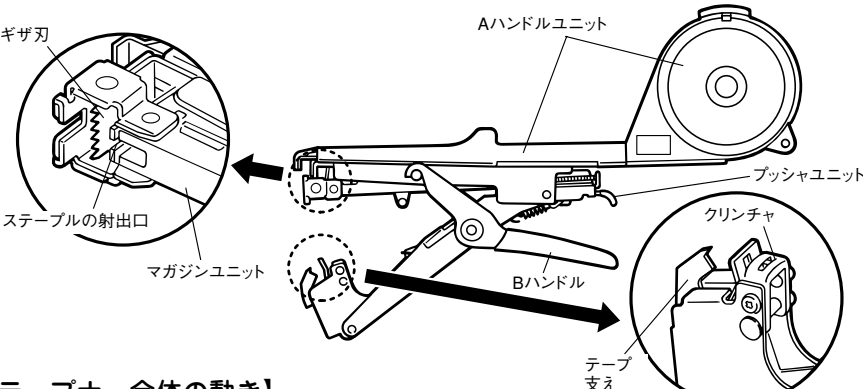
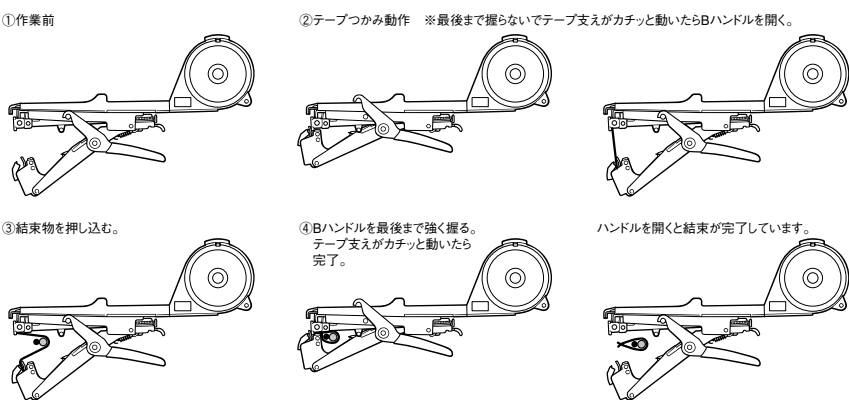
【テープナー全体の動き】

①作業前

②テープつかみ動作　※最後まで握らないでテープ支えがカチッと動いたらBハンドルを開く。

③結束物を押し込む。

④Bハンドルを最後まで強く握る。
テープ支えがカチッと動いたら完了。

ハンドルを開くと結束が完了しています。

①、②の動作でテープを引き出し、③、④の動作で結束します。

2 ⚠安全作業のために

本機は、果樹などの棚誘引結束、野菜などの支柱誘引結束、つる上げ誘引結束を行うことを目的とした機械です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

⚠警告

作業前

❶ステープルは、指定のものを必ず使用する。

❷ギザ刃は指定のものを必ず使用する。
ギザ刃は必ずテープナー用ギザ刃を使用してください。指定以外のギザ刃の使用は、刃先の破損、及び機械故障の原因となります。

❸使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
使用前に支柱など棒状のもので、本機が正常に作動するか確認してください。正常に作動しなかったり、結束できない場合は、お買い求めの販売店またはマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱に修理へ出してください。

❹（テープを入れる時）マガジンユニットの先端付近には、ギザ刃及びステープルの射出口があるため、絶対に指を当てない。

作業中

❺2度打ち（ステープルがクリンチャに残っているうちに、次のステープルを打つこと）を絶対にしない。
ステープルづまりなど、本機の故障の原因となりますので避けてください。

❻空打ちを絶対にしない。
ステープルづまりなど、本機の故障の原因となりますので避けてください。

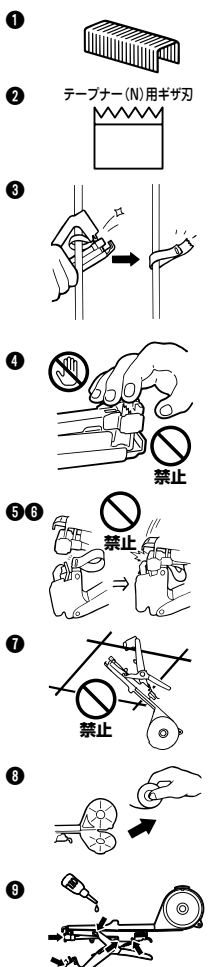
❼棚の番線・支柱に本機を絶対に掛けない。
一時的に使用を中断するときに（及び作業終了後）本機を棚の番線や支柱等に掛けたまま放置しないでください。落下による事故や落下による本機の故障の原因となります。

作業後

❽使用後は、テープ・ステープルを機械から必ず抜き取り保管する。
テープを取り出す際は、必ずAハンドルユニットのテープ通り道のフタを開けてください。

❾使用後は、冷暗所に保管する。
直射日光のあたる場所（例：ハウス内など）に長時間放置すると、プラスチック部品が劣化し、本機の故障の原因となります。

❿摺動部には必ず注油する。
本機の性能を維持するために、作業終了後に摺動部に注油してください。

333

3 仕様

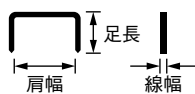
商品名	マックス園芸用結束機テープナー
商品記号	HT-A（NS）
寸法	（W）27 ×（L）335 ×（H）136mm
質量	420g
結束範囲	最大24mm ϕ
ステープル装填数	604C-L/200本×1連　604E-L/172本×1連
付属品	吊り下げ用ストラップ
使用温度範囲	0℃～40℃　※テープ種類により一部異なる。次ページの表を参照

4 使用方法

【ステープルの入れ方】

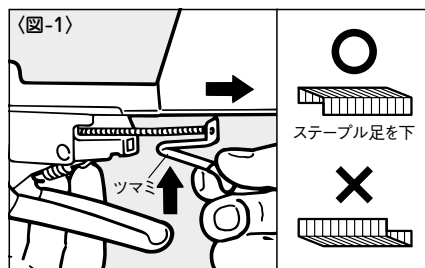
⚠ 注 意

●ステープルは指定のものを必ず使用する。

●使用ステープル

604C-L	足長4mm 肩幅6mm 線幅0.5mm
604E-L	足長4mm 肩幅6mm 線幅0.58mm

❶左手で本体を握り、右手でプッシャユニットのツマミを上に押し上げ、そのまま後方へ引き出します。〈図-1〉

❷右手でステープルをつまみ、ステープル足を下にしてマガジンユニットの中に入れ、プッシャユニットをセットします。〈図-1〉

〈図-1〉

【テープの入れ方】

⚠ 注 意

●テープは指定のものを必ず使用する。
●マガジンユニットの先端付近にはギザ刃及びステープルの射出口があるため、絶対に指を当てない。
●テープを取り出すもしくは巻き戻す際は、必ずAハンドルユニットのテープ通り道のフタを開ける。
テープ通り道のフタを閉めたままテープを引張り、取り出すと、逆止のバネが破損したり、テープが切れますので、テープ通り道のフタを開けた状態でテープを取り出してください。

●使用テープ

テープは常温で保管し、直射日光の当たる場所や湿気のある場所は避けてください。

テープ種類	製品記号	色	寸法（厚さ）×（幅）×（長さ）	推奨ステープル 604C-L	推奨ステープル 604E-L
光分解テープ	TAPE 100-R	クリーム	0.1 mm×11mm×38m	◎	○
	TAPE 200-R	ペイルグリーン	0.2 mm×11mm×19m	○	◎
	TAPE 200-L	ピンク	0.2 mm×11mm×19m	○	◎
テープナー用テープ	TAPE-10	白	0.1 mm×11mm×40m	◎	○
	TAPE-15	青	0.15mm×11mm×26m	○	◎
	TAPE-25	赤	0.25mm×11mm×16m	○	◎
テープナー用鏡面テープ	TAPE-15M	銀	0.15mm×11mm×26m	○	◎

○：使用できます
△：使用できないことがあります
×：使用できません

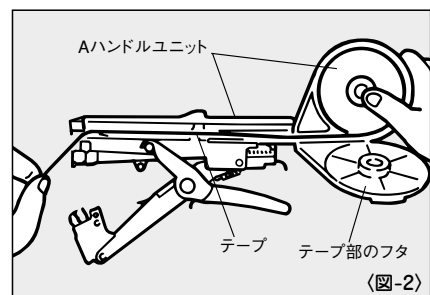
以下の表に従い、使用環境温度に合ったテープをお使いください。

テープ種類	0℃未満	0℃〜5℃	5℃〜10℃	10℃〜30℃	30℃〜35℃	35℃〜40℃	40℃超
TAPE 100-R	×	×	△	←○→	←○→	←○→	×
TAPE 200-R,TAPE 200-L	×	←○→	←○→	←○→	←○→	←○→	×
TAPE-10	×	△	←○→	←○→	←○→	←○→	×
TAPE-15,TAPE-25	×	←○→	←○→	←○→	←○→	←○→	×
TAPE-15M	×	←○→	←○→	←○→	△	×	×

⚠ 注 意

●テープの厚さが薄い商品（TAPE-10,100-R）を低温で使用しますと、テープ自体が硬くなり引き出せないことがありますので、低温環境下でご使用の場合は厚いテープ（TAPE-15,200-R等）をご使用ください。
●TAPE-15Mは高温で使用しますと、テープを引き出しにくくなることがありますので、高温環境下でご使用の場合はご注意ください。

❶Aハンドルユニットのふたをあけ、テープを入れ、テープ部のふたのみを『パチン』と音がするまで閉じます。〈図-2〉

〈図-2〉

❷次にテープをセットします。テープ通り部フタを開けたまま親指でテープを軽く押え、右手でテープ先端を持ちます。〈図-3〉

〈図-3〉

❸テープを下方へ引き、テープガイドの中にテープを通します。〈図-4〉

〈図-4〉
テープガイド

⚠ 注 意

●Aハンドルユニットの先端付近にあるギザ刃と、ステープルの射出口には絶対に指を当てない。

❹テープをテープ通り部フタにはさまない様注意しながらパチンと音がするまで閉じます。テープを通す位置に注意してください。〈図-5〉

左右の板金のすき間からテープが見えていればOKです。〈図-5〉

【テープの引き出し方】

❶ハンドルを軽く握るとテープ支えがテープ先端を押えます。〈図-6〉

❷その状態でハンドルをもどすと、テープが引き出されます。

〈図-6〉

【結束の仕方】

⚠ 注 意

●空打ちを絶対にしない。
空打ちをしますと、ステープルづまりの原因となりますのでさけてください。

❶結束物にテープを当てがい、機械の中に入るように押し込みます。〈図-7〉

〈図-7〉

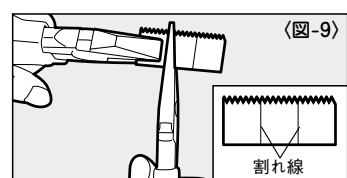
❷ハンドルを強く握りますと、結束物はテープとステープルにより結束され、同時にテープは切断されます。〈図-8〉

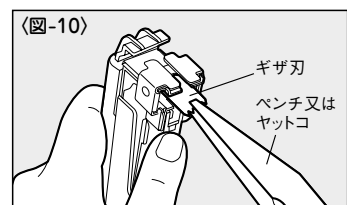
〈図-8〉

【ギザ刃交換】

⚠ 警 告

●ギザ刃は必ず指定のものと交換する。
お買い求めの販売店で、テープナー用ギザ刃とご指定の上、お買い求めください。指定以外のギザ刃の使用は、刃先の破損、及び機械故障の原因となります。
●ギザ刃を交換する時は、ステープル射出口に指を絶対に当てない。
●ギザ刃の抜き取り、挿入はペンチ又はヤットコを必ず使用する。

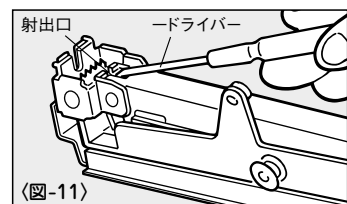
❶ギザ刃の耐久限度は約10万回です（使用状況により異なります）。テープを切断しなくなりましたら、新しいギザ刃と交換してください。

※ギザ刃の割り方
ギザ刃は新品の状態では3枚連結になっています。手で割ると割れ線に沿って割れないこともありますので、ラジオペンチやプライヤー等を使って割れ線に沿ってあてがい、ギザ刃を割っていただくときれいに割ることができます。〈図-9〉

〈図-9〉

❷Aハンドルユニット先端部とマガジンユニットを左手ではさみ、ギザ刃をペンチ又はヤットコ等で抜き取り、新しいギザ刃の刃先を傷つけないように入れてください。〈図-10〉

〈図-10〉

【針（ステープル）づまりの直し方】

針がつまったらードライバーなどを使って、射出口からつまった針を取り除いてください。〈図-11〉

〈図-11〉

5 使用後

⚠ 注 意

●使用後は、テープ、ステープルを機械から必ず抜き取り、保管する。
●摺動部には必ず注油する。
使用後は、直射日光のあたる場所、高温・多湿な場所（例：ハウス内など）を避け、冷暗所に保管する。

【注油部】

本機の性能を維持するために、作業終了後は摺動部に注油してください。〈図-12〉

〈図-12〉